

平成30年度 市民大学リレー講座

# 災害と向き合う

市内5大学の教授陣が  
**「災害・防災」**をテーマに  
 様々な切り口から  
 講義をお届けします。

受講料  
**無料**

第1回

9/22(土)

東海大学 海洋学部 海洋地球科学科  
**原田 靖** 専任講師  
 地球科学的に見た  
 これから起こる激甚災害

第2回

10/6(土)

静岡英和学院大学  
 人間社会学部・人間社会学科  
**古郡康人** 教授  
 災害と祈り

第3回

10/20(土)

静岡県立大学  
 食品栄養科学部 環境生命科学科  
**内藤博敬** 助教  
 生命の源と神の怒り

第4回

11/3(土)

静岡大学  
 大学院理学研究科地球科学専攻・防災総合センター  
**北村晃寿** 教授  
 大地が伝える津波と地震の記憶  
 ~静岡・清水平野の津波堆積物調査から~

第5回

11/17(土)

常葉大学 健康科学部看護学科  
**坪井秀介** 助教  
 東日本大震災後の災害経験から、  
 静岡県としての「防災」を考える

会場

**アイセル21**静岡市葵区東草深町3番18号  
 31集会室

日時

9月22日～11月17日の土曜日(全5回)  
 午前10時00分～11時45分

定員

一般枠:70人(一般の方は5回連続講座となります。)

高校生枠:10人(市内高校生限定!単発の参加OK!申込時にご希望の回をお伝えください。)

申込  
方法

9月20日(木)までにお申し込みください。(申込順)

●電話で静岡市生涯学習推進課へ **TEL:054-221-1207** (平日8:30～17:15)●FAXで静岡市生涯学習推進課へ **FAX:054-221-1758**

※『氏名・電話番号・住所(区まで)・年齢・高校生の場合は参加回』を記載ください。

**全5回出席された方には修了証書を授与します**

本講座は「しづおか県民カレッジ」の連携講座です。

受講料  
無料

平成30年度 市民大学リレー講座

# 災害と向き合う

第1回

9/22(土)

地球科学的に見たこれから起こる激甚災害



東海大学

海洋学部 海洋地球科学科

原田 靖 専任講師

日本列島は地球科学的にどのような場所なのか、歴史的にどのような巨大災害にあつてきただけを十分理解している人は少なく、多くの人は千年も前に起つたものと同規模の大災害が自分の身に降りかかると思っていません。本講演は2011年のM9の巨大地震発生を受けて、現在の日本の置かれている状況と、どのような規模の地震、火山噴火が今後20年程度に亘り起つり得るのかを歴史的なデータを紹介しながら分かりやすく解説致します。

第2回

10/6(土)

災害と祈り



静岡英和学院大学

人間社会学部・人間社会学科

古郡康人 教授

敗戦後まもない昭和24年から25年にかけて、久保田万太郎は、旧派俳諧の大看板である雪中庵十二世増田龍雨をモデルにして「市井人」「うしろかけ」という小説を発表します。両作に描かれた主人公蓬里の、関東大震災による故郷浅草への喪失感は、震災と戦争を経験した万太郎自身の思いでもありました。蓬里は絶望の淵からいかに立ち上がる勇気を得たか、作者万太郎の祈るような人生観を追尋してみたいと思います。

第3回

10/20(土)

生命の源と神の怒り



静岡県立大学

食品栄養科学部 環境生命科学科

内藤博敬 助教

水は生命の源であり、水無くして私達は生きることができません。また、地球は「水の惑星」と呼ばれます。その『水』とは一体いかなるものなのでしょうか？さらには、近年よく被害を耳にするゲリラ豪雨や集中豪雨、鉄砲水、津波など、私達は水による災害に日頃から如何にして備えるべきでしょうか？普段は身近過ぎて意識することのない『水』について、あらためて考えてみましょう。

第4回

11/3(土)

大地が伝える津波と地震の記憶  
～静岡・清水平野の津波堆積物調査から～



静岡大学

大学院理学研究科地球科学専攻・  
防災総合センター

北村晃寿 教授

東北地方太平洋沖地震に伴う津波災害を契機に、私は静岡・清水平野と伊豆半島南部で津波堆積物と古地震の調査を行つきました。調査から見えてきた静岡県における過去数千年間の地震・津波の履歴を紹介します。

第5回

11/17(土)

東日本大震災後の災害経験から、  
静岡県としての「防災」を考える



常葉大学

健康科学部看護学科

坪井秀介 助教

2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災は「地震・津波・放射線」のトリプル災害と言われています。静岡県は昨今予見されている南海トラフ地震による被害が甚大になる可能性が高く、太平洋に面し、原子力発電所が顕在する地域となっています。そこで、震災後約2年間の間、福島県南相馬市に在住し、活動した私の経験を踏まえ、「今の静岡県民に必要な防災知識とは何か」を伝えたいと思います。